

■第 32 回 START プログラム (タイ)

2016 年 3 月 13 日から 3 月 27 日までの約 2 週間、第 32 回 START プログラムに学部 1 年生 24 人が参加し、引率の桑山尚司講師（教育学研究科）ら 3 人の引率教職員とともに、タイ王国バンコクにあるチュラーロンコーン大学に留学し、講義を受講したほか、現地の日本企業等を訪問し、国際企業に求められる人材像等についてお聞きしました。

チュラーロンコーン大学では、タイ語の授業のほか、タイの歴史、経済、政治、文化や、英語でプレゼンテーションをする際に必要となるテクニック等に関する講義を英語で受講しました。参加した学生たちは、今までタイ語に触れたことはほとんどありませんでしたが、タイ語を学び、現地の方々と交流を重ねることで、現地の言葉でコミュニケーションすることの大切さを実感していました。また、英語による講義は、当初は慣れず、十分に理解できない部分もありましたが、日々のチュラーロンコーン大学の学生との交流や、参加者同士での情報共有を経て、講義内容に関することやタイに来て感じた疑問を英語で質問できるようになりました。

講義以外の場では、チュラーロンコーン大学の学生とキャンパス内及びキャンパス周辺を見学したり、互いの国の文化を紹介しあったりして交流を深めたほか、現地日本企業等を訪問し、日本人から見たタイ人、タイ人から見た日本人や、国際企業で働くために必要な能力及び求められる人材像等をお聞きしました。また、バンコクから北へ 80 km ほどのところに位置する世界遺産、アユタヤ歴史公園を訪問するなど、歴史的建造物見学をとおして、タイの伝統と多様性を学びました。

最終日には、渡航前の事前学習及び現地で各グループが関心を持ったテーマ（タイにおける政治、経済、社会、教育、文化）について、現地での学習をもとにまとめた成果を発表しました。発表は質疑応答を含め、全て英語で行いました。

また、送別会においては、研修中お世話になった先生・学生の方たちに、充実した 2 週間を過ごせたことへの感謝を伝え、別れを惜しみました。

帰国後の事後研修では、本プログラムをとおして学んだこと及びこの経験を今後どのように生かしていきたいか（大学生活や将来の夢）を発表することで、これからの目標を再確認し、そこに向かってどのように努力すべきかを具体的に考えることができました。



チュラーロンコーン大学の学生たちとの交流



企業等訪問の様子（盤谷日本人商工会議所）



バンコク市内の歴史文化施設訪問（グランドパレス）



学習成果発表会の様子